



# ふじあざみ

FUJI SABO news

No.

105

平成30年4月

【特集】

平成30年度から

富士山火山噴火対策に着手

～火山噴火に対する備えの強化～

国土交通省中部地方整備局  
富士砂防事務所



富士山は、過去に活発な噴火活動を繰り返して成長してきた活火山です。

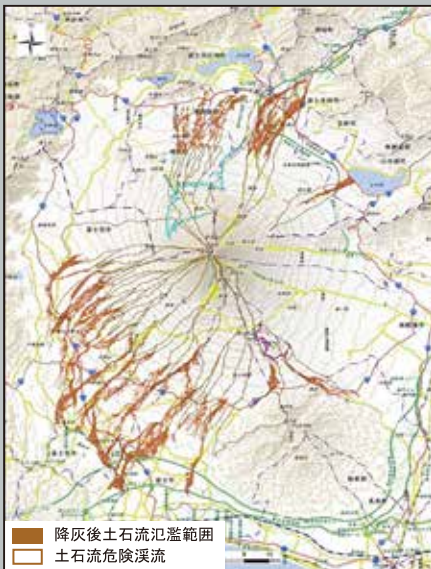
富士山の広大な山麓では、多くの人々の生活や経済活動が営まれますと共に、日本の経済に大きな影響をおよぼす重要交通網が存在し、降雨による土砂災害だけでなく、火山噴火に伴う土砂災害に備えなければなりません。富士砂防事務所では、平成30年度から噴火に備えた対策を進める火山噴火対策に着手します。

**対象とする土砂災害**は、噴火の実績があり、発生頻度が高い現象のうち、直接人命や財産に被害をおよぼすと考えられる次のものとしします。

## 降灰後の土石流 (基本対策 緊急対策)



雲仙岳1991年噴火

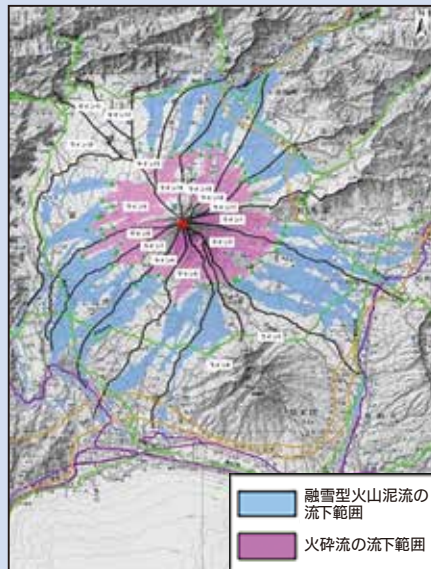


降灰後土石流氾濫範囲  
小規模噴火（1,000万 $\text{m}^3$ DRE）によって、  
噴火後10年間繰り返し発生する土石流

## 融雪型火山泥流 (緊急対策)



十勝岳1926年噴火

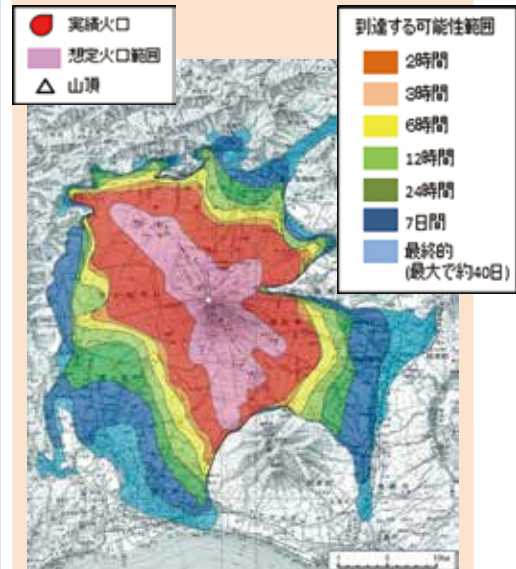


融雪型火山泥流による想定範囲  
滝沢火砕流規模（240万 $\text{m}^3$ ）

## 溶岩流 (緊急対策)



三宅島1983年噴火



溶岩流による想定範囲  
(富士山ハザードマップ検討委員会報告書  
溶岩流可能性マップ)  
大・中・小規模溶岩流を合成

富士山の噴火が原因となって起こる土砂移動現象は、発生時期や場所等の予測が困難で、その土砂移動現象に対応するための噴火対応の計画は、降雨対応の砂防施設の効果を考慮したうえで、噴火に伴う土砂移動現象にも十分に効果を発揮させるため、ハード・ソフト対策を適切に組み合わせ、合理的かつ効果的な計画とします。

噴火への対応は、平常時から計画的に砂防施設等を整備する「基本対策」と噴火時にできる限りの被害軽減（減災）に取り組む「緊急対策」の2つを組み合わせ実施します。



# 山火山噴火対策に着手

## ハード対策

## ソフト対策

### 基本対策



砂防堰堤  
(富士山)



沈砂地  
(富士山)

平常時から計画的に実施する。段階的に目標を定め、景観・自然環境に配慮しつつ整備を進める。



監視カメラ  
(富士山)



ワイヤーセンサー設置  
(平成26年御嶽山噴火)

平常時から計画的に実施する。土砂災害のおそれがある時、あるいは土砂災害が、発生した時に効果が発揮されるよう計画する。

### 緊急対策



コンクリートブロック備蓄  
(浅間山)



コンクリートブロック堰堤  
(H26御嶽山)

緊急的な対応により、被害をできる限り軽減（減災）する。緊急対策の迅速な実施のため、資機材の備蓄や用地の調整等を平常時より行う。



監視カメラ  
(平成26年御嶽山噴火)

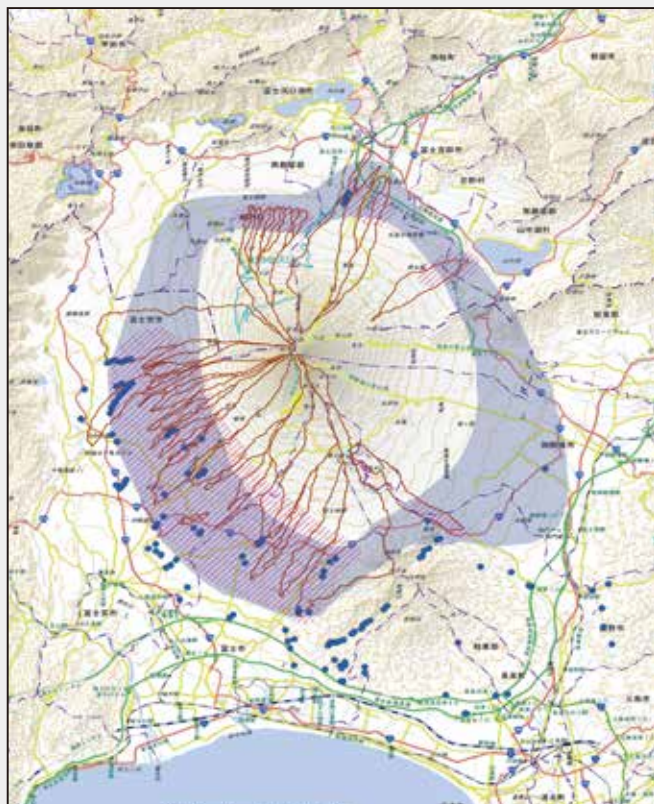


降灰量調査  
(平成26年御嶽山噴火)

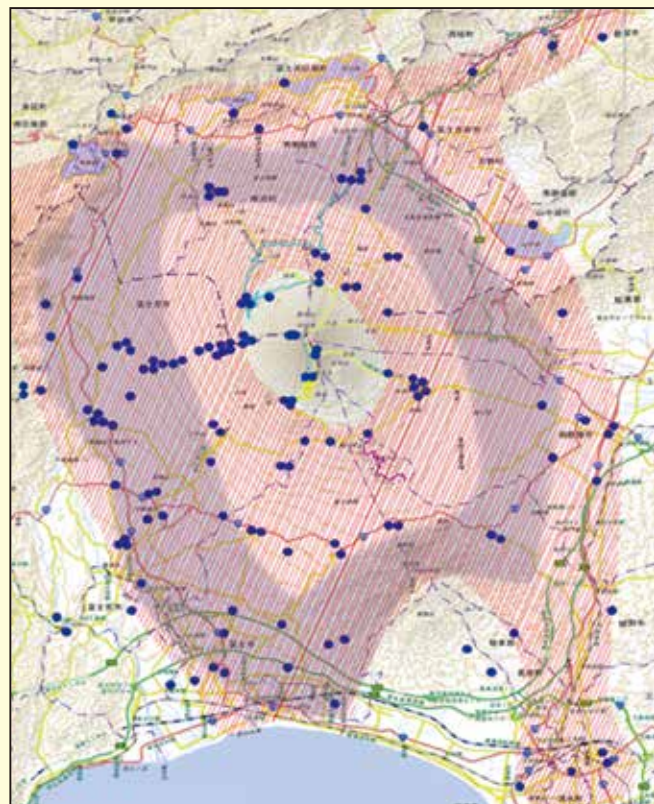
火山噴火時の状況把握や広域避難計画と連携した関係機関への情報提供を行う。

### 対策エリア

- 既設砂防施設の整備（国・県）
- /// 基本ハード対策が必要なエリア
- 緊急ハード対策が必要なエリア



- 既設監視・観測機器の整備箇所（国・県・大学等）
- /// 基本ソフト対策が必要なエリア
- 緊急ソフト対策が必要なエリア





# 土砂災害から命を守るために

## ■日頃の備えと早めの避難

静岡県では、ホームページにより土砂災害による被害の軽減に役立つ情報の発信をしています。是非この機会にご確認ください。

## ■早めの避難行動を心掛けましょう

あらかじめ近くの避難所等を確認しておき、集中豪雨や土砂災害警戒情報発表時は早めの避難を心掛けましょう。

## ■夜間や大雨でどうしても避難が難しいときは

夜間など避難所への避難が困難な場合は、近くの頑丈な建物の二階以上への緊急避難や家の中の二階以上のがけから離れた場所への避難も有効です。

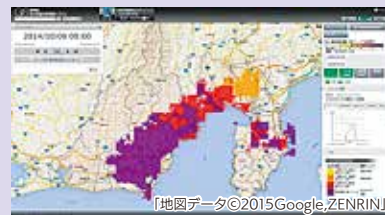
大雨により土砂災害の危険性が高まると、色がつくメッシュ情報をホームページで公開しているの、ご自宅周辺の状況を確認しておきましょう。

## ○土砂災害警戒情報補足情報システム

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1&>



QRコードはこちら



## イベント報告

### ■12/9「サイエンスワールド」に参加

子供たちの体験型科学イベント「サイエンスワールド」に出展しました。土石流や地すべり、富士山周辺の起伏を再現した模型等を使って、災害とはどういうものか体験していただきました。



### ■12/17 JR東海さわやかウォーキングとコラボ！ 由比地すべり対策事業を説明

薩埵峠をコースとするJR東海さわやかウォーキングの「学べるウォーキング」とコラボして、由比宿の土砂災害の歴史や地すべり対策について説明を行いました。



### ■2/15 富士山火山噴火対策砂防事業 促進期成同盟会が総会を開催

山梨県側の富士山火山噴火対策砂防事業の建設促進と緊急減災対策の推進を図ることを目的とした、富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会総会が開催されました。



### ■12/13「工事安全協議会」を開催

建設労働災害の防止、安全意識の向上を図るため工事安全協議会を開催しました。研究発表では、木内建設(株) 松下圭佑氏が最優秀賞、(株)中村組 齋藤巧氏、佐野藤建設(株) 伊藤隆文氏が優秀賞を受賞されました。



### ■12/22「災害対策関係功労者表彰式」を開催

平成29年度九州北部豪雨の災害対策支援活動に協力し、顕著な功績があった日本総合サービス(株)静岡支店に感謝状を贈りました。



### ■2/17～2/18「なんでも富士山2018」に参加

世界文化遺産に登録された富士山の美しさ、富士岳南地域のすばらしさを発信するイベント「なんでも富士山2018」に火山災害をテーマにしたブースを出展しました。



### ■2/19「平成29年度 富士山火山噴火緊急減災対策砂防演習」を開催

富士山噴火時に実施する緊急対応における、国・県・市・関係機関の連携強化を図るため、シナリオシミュレーション形式による演習を実施しました。



## 由比出張所庁舎移転のお知らせ

当事務所由比出張所は、平成30年1月26日(金)に移転しました。

移転先：〒424-0922

静岡市清水区日の出町9-1

(清水港湾合同庁舎6階)

電話：054-355-1205 FAX：054-355-1206



## ●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

編集作成 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

協力：静岡県 砂防課

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100 TEL 0544-27-5221 担当/調査課

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/> E-mail [cbr-fujisabo@mlit.go.jp](mailto:cbr-fujisabo@mlit.go.jp)

■富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9 TEL 0544-54-0236

■由比出張所 〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-1 (清水港湾合同庁舎6階) TEL 054-355-1205

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「現場見学・出前講座」の欄をご覧ください。

★ふじあざみのバックナンバーは富士砂防事務所HPからご覧いただけます。

「ふじあざみ」は土砂災害による死者0を目指し、土砂災害への理解を深め、地域防災力を高めることを目的として発行しています。

また、掲載内容等は、現時点のものであり、今後、内容に変更が生じる場合があります。